

農林業センサス(経営耕地面積)と耕地面積統計の比較

耕地面積統計調査

【調査の概要】

調査の周期：毎年

調査の系統：国→地方統計組織

母集団情報：約180万単位区
※単位区とは筆別土地台帳を基に編成した約2[㏊]の区画

調査対象：約4万標本単位区
(都道府県別調査精度：1%程度)

実査手法：約2,300名の統計調査員による実測
但し、実測困難な箇所(約5%程度)は国の職員が実測

※実測内容は、標本単位区内の全ての筆について、1筆毎に台帳面積と現況面積の変化状況を現地確認

耕地面積

平成24年調査結果
毎年7月15日現在
(24年10月26日公表)

【454.9万[㏊]】

(参考)
平成21年調査結果
【460.9万[㏊]】

既にかい廃により非耕地となった耕作放棄地

2010年世界農林業センサス

【調査の概要】

調査の周期：5年

調査の系統：国→都道府県→市町村

母集団情報：耕地及び耕作放棄地を5^a以上所有する者

調査対象：経営耕地面積が30^a以上または農産物の作付・栽培面積、家畜の飼養頭羽数が一定規模以上(外形基準)、もしくは農作業の受託を行う者

実査方法：約16万名の統計調査員が調査票を調査対象に配付し回収

経営耕地面積

農業経営体
(家族経営及び組織経営)
【363.2万[㏊]】

自給的農家
【16.2万[㏊]】

土地持ち非農家
【2.8万[㏊]】

センサス対象外など

- ・5^a未満農地所有者
- ・不在地主など
- ・過小申告分

耕作放棄地
【39.6万[㏊]】

- (留意事項) ①経営耕地面積及び耕地面積は、けい畔を含む面積である。(本地+けい畔)
②過小申告分とは、農林業センサスの調査方法が自計申告調査であるため、一般的に実測調査に比べて過小になると考えられている。
③耕作放棄地とは、以前耕地であったもので、過去1年間以上作物を栽培せず、しかも、ここ数年の間に再び作付けする考えのない土地である。